

ともに、未来を創ろう

# 山添藤真

ご挨拶

風鈴の音色が心地良く耳に響き、また本格的な夏の暑さを感じる時期になりました。みなさんはいかがお過ごしでしょうか。

さて、6月1日～20日にかけて、第37回平成23年与謝野町議会6月定例会が開会されました。本活動レポート4号では、私が本会議中におこないました一般質問と一般会計補正予算(第1号)への質疑応答の一部と活動報告をご紹介させて頂きます。

今度も厳しい暑さが予想されます、くれぐれもご自愛下さいますようお願い申し上げます。

## 『庁舎問題統合住民説明会を受けて』

山添 先日、庁舎統合問題に関する住民説明会が行われた。庁舎統合の必要性について6つの理由が示されたが、各項目のより詳細なる理由の説明を求めたい。

町長 私としては、思いのすべてを述べさせて頂いたので、更なる解説を残している訳ではない。

山添 だが、6つの理由を詳細に議論したが、統計的なデータ不足等の理由によって、その必要性を認めることができない項目もある。そのような項目を「必要性」とし、住民の方々に説明することは、議論の正統性に欠けると思うが。

町長 町政懇談会ではより詳しい説明をしたい。

山添 私は、この地域の未来を見据えた時に、合併(一市二町)の可能性も十分にありえるし、本提案はそんな未来と深く関わることだと考えている。本件に関して、近隣市町と議論をされる予定はあるのか。

町長 確かに合併の可能性はゼロではないが、近隣市町と議論する予定はない。

山添 宮津与謝地域の議場に立つ最年少者として申し上げるが、未来への配慮なくして、本件に関する議論の「先」はない。

## 一般質問

## 『ふるさと納税制度の促進について』

山添 平成23年度に入り、「ふるさと納税制度」を利用して、2名の方々からご寄付を頂いているが、この件数を増やすために努力されるつもりはあるのか。

企画財政課長 あくまで自主的に寄付して頂くことなので、こちらから積極的に働きかけることはない。

山添 全国の事例を調べてみると、「ふるさと納税制度」をよりよく運用するために、別途の政策を立案されている場合もある。伊根町の「同窓会サポート事業」などがそれである。当町でも例えば、同窓会サポート事業を行ってみてはいかがか。

企画財政課長 以前、山添議員から提案があり、課内でも議論してみたが、いくつかの理由により、この事業は民間の方々にお願ひする方がいいのではないかと結論付けた。

山添 課内の議論のなかで、「これなら」できる」と判断された部分はあるか。

企画財政課長 同窓会で、町の状況をお知らせするような出前講座ならできないのではないかといいことになった。

山添 実行してみてもどうか。

企画財政課長 昨年度は同窓会で出前講座をさせて頂いたことはないが、依頼があればおこなっていききたいと思います。

山添 同窓会をされる方々が「与謝野町内で同窓会をする際は、出前講座を受けることができる」と知って頂けるように、きっちり告知してほしい。

企画財政課長 ホームページなどで、きっちり告知していきたい。

## 一般会計補正予算(第1号)



## 活動報告



## 石田祭り

5月1日(日)、岩滝祭り@与謝野町が開催され、豪雨と予想されていた天候もさほど悪化することなく旧岩滝町内の各地区は神楽・太刀振り・出店で賑わう楽しい一日となりました。

僕が住む石田地区は、朝から晩まで太刀振りと呼ばれる刀を使用した踊りを各戸前で披露し練り歩くお祭りを執りおこないました。本年度は隣区から御神輿を連れてくる二年に一度の年でもあったこともあり、文字通り区民総出のお祭りとなりました。この石田祭りは、区内出身者が遠方より参加するために帰ってくるのが特徴のひとつです。本年度も幾人もの青年が帰って来てくれて、一緒に楽しむことができました。



## 宮津祭り

5月15日(日)、昨年、応援要請を受けて参加したのがきっかけとなり、今年も皆さんに温かく迎えて頂き和貴宮御神輿を担がせて頂きました。御神輿組長の指揮のもと3チームに分かれて担ぎあう8時間は、神様を担いでいるという気持ちを持ち続けるという非日常の時間です。それゆえだと思いますが、指揮者・担ぎ手の男気と気迫は溢れ、神輿技とかけ声も迫力に満ちあふれます。

今年も「御宮入」前の練り込み(神社の鳥居の前の道を行ったり来たりする激しく駆け引き)も大盛況。御宮入後の神事も滞りなく執り行われ、無事お祭りを終えることができました。



## 交流会@自宅

5月24日(火)、日本計画行政学会関西支部広域行政研究会事務局長をはじめとする皆さんが視察に訪れてくれました。

元鳥取大学地域学部教授・霜田稔氏が作成された「京都丹後地域づくりの長期的方向についての討論素材」を議論のたたき台にしながら、約2時間にわたり議論が行われました。学会の方々からは、問題提起、丹後地域のこれまでの歩み、広域生活圈計画の方向、定常化社会に向けてのプロセスなどのについての学問的・体系的な話を伺い、僕からは自分の活動をベースとした体験的な話をさせて頂きました。お互いを補完し合う良い議論になったのではないかと思います。



## 行政視察にて

7月14日(木)・15日(金)、総務常任委員会の視察で長野県飯田市と岐阜県恵那市を訪れました。

僕がこの視察で特に注目したのは、飯田市で進められている「地域内分権」です。これは、市内の地域ごとに20つのまちづくり委員会を設置し、その委員会が自由かつ有効にまちづくりをおこなえるように大幅な決定権と予算を配分する仕組みです。開始から4年が経過した今、従来からの取組みと響き合い、市民のあいだで「自治」の意識が高くなっているとのことでした。

## 被災地へ

7月5日(火)から数日間をかけて、宮城県は仙台市・東松島市・石巻市・女川町を巡ってきました。4カ月が経った今でも、ガレキ撤去作業や行方不明者の捜索活動は済んでおらず、まだ何も「終わっていない」ことを改めて痛感させられるとともに、被災地から遠く離れた場所に暮らす私たちにできることは、被災地への関心を風化させないための意識的な努力だと思いました。

僕はいくつかの災害ボランティアセンターの一員として、家屋に入り込んだヘドロの撤去作業に従事したり、乗り上げた船舶の清掃作業のお手伝いをしたりしていました。まだまだボランティアを必要としている地域はありますので、僕からも皆さんのご協力をお願いさせて頂きたいと思います。



## ホームページ開設のお知らせ

ホームページにて山添藤真の日頃の活動をリアルタイムでお伝えしておりますので、どうぞご覧下さい。

[www.yamazoetoma.com](http://www.yamazoetoma.com)

ツイッターはじめました。twitter.com / Toma\_Yamazoe

## 連絡先

## 山添藤真後援会

〒629-2263 京都府与謝郡与謝野町字弓木493番地

TEL: 0772-46-2031(携帯 080-2077-4591)

FAX: 0772-46-4394

EMAIL: toma.yamazoe@gmail.com